

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票 (評価対象年度：令和5年度)

施設の名称	名取市増田児童センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
施設所管部課(室)	健康福祉部子ども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期間	管理形態	指定管理者(管理受託者)	摘要
昭和47年4月3日～平成26年3月31日	直営		
平成26年4月1日～平成28年3月31日	管理受託	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ	
平成28年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ (H29.8.3名称変更 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ)	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
	所在地	名取市みどり台三丁目19番地の4
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年0ヶ月)	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市増田児童センター	
所在地	名取市増田三丁目9番56号	
設置年月	昭和47年4月	
根拠条例等	名取市児童厚生施設条例、名取市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例、名取市放課後児童クラブ実施条例、名取市児童館管理規則、名取市放課後児童クラブ実施条例施行規則	
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設を設置する。	
施設の内容	静養室、集会室、図書室、クラブ室、遊戯室等	
開館時間	月曜日～金曜日：午前9時(小学校等休業日は午前8時)～午後7時	
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)	
指定管理者が行う管理運営業務	放課後児童クラブ業務、自由来館業務、地域子育て支援拠点事業(一般型)、地域子育て支援事業(出張サロン)、名取市ファミリー・サポート・センター業務、地域活動クラブ業務、相談業務、各種行事及びクラブ活動の実施、自主事業の実施、児童センターだよりの発行(月1回、原稿等の企画構成)、小学校への長期休業時の利用周知	
利用料金制度	採用の有無	有 ・ 無
	利用料金の名称	

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
開催日数	294日	294日	294日	100.0%
延べ利用者数	58,028人	49,499人	44,397人	117.2%
利用者数 (人/日)	197.4人/日	168.4人/日	151.0人/日	117.2%
主な増減原因	増田小学校の児童増加、中学生の利用人数増加			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
指定管理料	47,827	47,827	47,660	100.0%
利用料金収入				
その他	1,254	2,921	1,881	42.9%
収入計 (ア)	49,081	50,748	49,541	96.7%

(2) 支出

人件費	41,864	41,900	40,086	99.9%
施設管理費	2,100	2,696	2,635	77.9%
事業運営費	4,032	5,004	5,486	80.6%
その他	907	1,148	1,334	79.0%
支出計 (イ)	48,903	50,748	49,541	96.4%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア)				
－ (イ)	178	0	0	0.0%
前期繰越収支差額	4,502	4,502	4,502	100.0%
次期繰越収支差額	4,680	4,502	4,502	104.0%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

利用人数の増加に合わせ、過ごし方や遊び方については工夫が必要になっている。200名近い子どもたちがそれぞれに遊びに集中でき、充実した時間を安全に過ごすことができる環境を作るようにしている。その中で、遊び方や道具の使用などのルールについて児童たちの意見も取り入れながら考えながら運営を行っている。中高生世代の利用が定着してきている。中高生が「また来たい」「安心して利用できる」と思えるよう過ごし方の提示や職員の関りに努めている。

乳幼児の利用については、ニーズに合わせた行事や活動を行うことができるよう、交流と会話を活かした行事を実施した。知りたいこと、やってみたいことを話し合い、実現することで子育ての充実やリフレッシュに繋がっているようだった。訪問型子育て支援ホームスタートについてもさまざまなニーズに対応できるようボランティアの学び合いの機会を定期的に実施した。

ファミリー・サポート・センター事業では、送迎の依頼が多くなっており安全面に関しての学びや情報提供の重要性を感じ備えることに努めた。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

職員の対応については概ね好印象をいただいているが、足りないと感じている方も少数いた。また、トラブル等があった場合の対応について、対応や調整について不安・不足を感じさせてしまっていた利用者もいた。児童間のトラブルに関しての対応、双方への連絡調整、児童への聞き取りについては改善が必要と感じている。職員での共有と迅速な対応、その内容について職場内だけではなく研鑽を図っていききたい。中学生からの声としては、居心地よく利用されている様子がアンケートから伝わってきた。

施設環境については、一定の評価をいただいているが、建物は増築を重ねているため死角が多い。外遊びは広い校庭を借用。利用人数が多い。運営上の安全管理の上でも日々熟考し運営している。

行事等の実施については、コロナ禍の経験を踏まえ、日常的な流れの中で自由に参加できる形式を多くとっていたが児童や保護者も参加しやすいようで好評であった。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

利用児童の増加により、過ごし方や環境づくりが課題となっている。年間の利用人数が8,500人以上増加しており、職員の配置や環境づくりにはたくさんの改善や工夫が必要になっている。

駐車場がないため、送迎の際には市役所を案内しているが隣接する小学校の職員駐車場を使用してしまう利用者がいる。

土曜利用についても40名の定員を超えて受け入れる日がでてきており、職員の配置に関して苦慮している。

子育て支援事業について、利用者の求めるニーズが変化してきている印象がある。年度末には託児の行事が人気であった。再度ニーズを確認し、取り組みを充実していきたい。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。		○	○	
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準（目安）】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「—」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

施設利用者が多い中、充実した時間を過ごせるよう児童自らがルールを作るなど児童の自主性を伸ばす取り組みを行い、土曜利用についても児童及び保護者のニーズを捉えながら職員配置を工夫し安全、安心な施設管理及び運営をしていることは評価できる。

また、ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て支援事業など個別ニーズに対応できるようボランティアと共に学び合いの機会を設け、事業の効果を向上させる取り組みも評価できる。

今後も、利用者の安全、安心の視点を優先しながらもニーズに寄り添った施設管理及び運営に努めていただきたい。